

病理学

担当講座（分野）：病理学講座（病態解析学分野）

第2学年 後期

後期 講義
22.5時間

教育成果（アウトカム）

人体の正常な形態ならびに機能の知識を基盤として、さまざまな病因を学ぶことによって疾患の成り立ちと転帰の過程を分子、細胞および組織レベルで知るとともに、諸疾患の基本的特徴に基づく分類と、それぞれの概念および内容を理解することによって、医学・医療との関わりの基本を認識する。また、与えられた課題を整理することによって学修習慣を確実なものとする。（ディプロマ・ポリシー：5、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月10日 (水) 1限	入江太郎教授	病理学序論、病因論 病理学の概念と病因について理解する。	1. 病理学の意義を説明できる。 2. 病理学と臨床医学の関係を説明できる。 3. 内因について説明できる。 4. 外因について説明できる。 5. 病理検査法について説明できる。 6. 細胞診について説明できる。 7. 特殊検査法について説明できる。 [C-5-1)-②]
10月17日 (水) 1限	佐藤泰生講師	染色体・遺伝子および発生の異常 発生の異常やそれに関わる原因について理解する。	1. 染色体・遺伝子の基本概念を説明できる。 2. 発生異常について説明できる。 3. 染色体異常による疾患について説明できる。 4. 遺伝子異常による疾患について説明できる。 [C-5-1)-①]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月24日 (水) 1限	入江太郎教授	循環障害 I 体液の循環の異常によりどのような障害が生じるのか理解する。	1. 水腫の定義・病態生理・形態学的変化について説明できる。 2. 虚血の定義・原因・転帰について説明できる。 3. 充血とうっ血について説明できる。 4. 出血と出血性素因について説明できる。 5. 血液凝固機序と血栓症について説明できる。 [C-5-4)-①, ②, ⑤]
10月31日 (水) 1限	入江太郎教授	循環障害 II 体液の循環の異常によりどのような障害が生じるのか理解する。	1. 塞栓症の定義・種類・結果・転帰について説明できる。 2. 梗塞の定義・種類・形態学的な変化について説明できる。 3. ショックの定義・発生・種類・形態学的な変化について説明できる。 4. 傍側循環について定義・種類・病態生理を説明できる。 5. 高血圧と低血圧について説明できる。 [C-5-4)-③, ④, ⑥]
11月7日(水) 1限	佐藤泰生講師	細胞傷害の機序と代謝障害 I どのような代謝過程の異常がいかなる機能的ないし形態的異常を生ずるのか理解する。	1. 細胞障害をきたす因子について説明できる。 2. 細胞傷害の機序と形態学的変化について説明できる。 3. 脂質代謝障害の概要を説明できる。 4. 中性脂質代謝障害について説明できる。 5. 脂肪肝について説明できる。 6. 動脈硬化症について説明できる。 [C-5-1)-②]
11月13日 (火) 1限	佐藤泰生講師	細胞傷害の機序と代謝障害 II どのような代謝過程の異常がいかなる機能的ないし形態的異常を生ずるのか理解する。	1. 複合脂質代謝異常について説明できる。 2. タンパク質代謝障害について説明できる。 3. 核酸代謝異常について説明できる。 4. 先天性核酸代謝異常について説明できる。 5. 色素代謝異常について説明できる。 6. ヘモグロビンの代謝障害について説明できる。 7. 胆汁色素代謝障害について説明できる。 [C-5-2)-①~④]
11月14日 (水) 1限	三上俊成准教授	炎症 I 障害的刺激・侵襲に対する局所ならびに全身的な防御反応について理解する。	1. 炎症の定義と原因について説明できる。 2. 炎症反応のカスケードについて説明できる。 3. 炎症巣の構造と浸潤細胞について説明できる。 4. 炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。 [C-5-5)-①, ②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月21日 (水) 1限	入江太朗教授	病理学到達度試験 これまでに行った講義の内容についての理解度を確認する。	1. 病理学序論、病因論についての理解度を確認する。 2. 染色体・遺伝子および発生の異常についての理解度を確認する。 3. 循環障害についての理解度を確認する。 4. 細胞障害の機序と代謝障害についての理解度を確認する。 [C-5-1)-②, C-5-2)-①~④, C-5-4)-①, ②, ⑤, C-5-4)-①~⑥]
11月28日 (水) 1限	三上俊成准教授	炎症Ⅱ 障害的刺激・侵襲に対する局所ならびに全身的な防御反応について理解する。	1. 急性炎症について説明できる。 2. 慢性炎症について説明できる。 3. 炎症の転帰について説明できる。 4. 炎症の名称と分類について説明できる。
12月5日(水) 1限	三上俊成准教授	免疫異常 生体恒常性維持のための自己・非自己の識別に基づく異物処理のしくみとその異常について理解する。	1. 免疫応答とその調節について説明できる。 2. 免疫反応と組織障害について説明できる。 3. 自己免疫疾患について説明できる。 4. 免疫不全症候群について説明できる。 [C-4-2)-⑤, ⑥]
12月12日 (水) 1限	入江太朗教授	増殖と修復 病的侵襲に対する生体の活動的変化を理解する。	1. 細胞増殖と分化について説明できる。 2. 肥大と増生について説明できる。 3. 化生について説明できる。 4. 再生について説明できる。 5. 肉芽組織と異物処理について説明できる。 [C-5-3)-①~⑤]
12月19日 (水) 1限	入江太朗教授	感染症 病原微生物が生体組織に侵入して増殖した結果生じる疾病を理解する。	1. 病原微生物と炎症反応について説明できる。 2. 日和見感染と生体防御反応について説明できる。 3. 粘膜感染と全身感染について説明できる。 [C-4-1)-①~③]
1月9日(水) 1限	三上俊成准教授	腫瘍Ⅰ 正常細胞が自立性をもった過剰増殖を示すようになった状態を理解する。	1. 腫瘍の定義と分類について説明できる。 2. 癌の広がり方と進行度について説明できる。 3. 前癌病変と境界病変について説明できる。 [C-5-1)-②]
1月23日(水) 1限	三上俊成准教授	腫瘍Ⅱ 正常細胞が自立性をもった過剰増殖を示すようになった状態を理解する。	1. 腫瘍の生物学について説明できる。 2. 腫瘍の発生について説明できる。 3. 癌遺伝子・癌抑制遺伝子について説明できる。 4. 腫瘍免疫について説明できる。 5. 宿主に及ぼす腫瘍の影響について説明できる。 [C-5-6)-①~⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月30日(水) 1限	入江太朗教授	病理学総論の要点 病理学総論の重要事項を整理し理解する。	1. 病理学総論で学んだ重要事項について説明できる。 [C-4, 5]

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード病理学	下野正基ほか編	学建書院	2005年
参	シンプル病理学改訂第7版	笹野公伸ほか編	南江堂	2015年
参	病態病理学改訂17版	菊地浩吉ほか編	南山堂	2004年

成績評価方法

病理学到達度試験(45%)および振り返り問題演習(5%)、後期試験(50%)により評価する。
--

特記事項・その他

講義毎に講義内容の重要項目の振り返り問題演習を実施し、到達度を確認する。到達度が不十分な場合にはレポートを課す。
--

授業に使用する機械・器具と使用目的

[病理学]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン ProDesk600一式	G3 SF/CT	1	視聴覚用(学部授業他)機器	実習(講義)の資料提示用
オールインワン蛍光顕微鏡	BZ-X700	1	基礎実習・研究用機器	実習・研究における形態学的観察用
カラー複合機・ imageRUNNER ADVANCE	C2218F-V 18PPM	1	基礎実習・研究用機器	講義資料作成
デスクトップパソコン・ Mate J・一式	MJ28E/L-J SPL	1	基礎実習・研究用機器	講義資料作成